

【家庭教育支援チーム】

(1)活動主体(チーム)について

①チーム名 (呼称)	五戸町家庭教育支援チーム (呼称:五戸町家庭教育応援隊) URL: https://5nohekateikyoiku.business.site Facebook: https://www.facebook.com/5nohe.kateikyoiku
②活動拠点	五戸町立公民館等
③活動範囲	五戸町内全域
④組織体制	<u>15 人</u> あおもり家庭教育アドバイザー、幼稚園教諭、看護師、児童発達支援管理責任者、主任児童委員、民生委員、ケアマネージャー、保護司、PTA関係者 ※あおもり家庭教育アドバイザー: 青森県教育委員会が主催する当該養成講座を修了した者。子どもの理解や親子の関わり方等、子育てに必要なスキルについて、参加者同士が身近なエピソードやワークを通して話し合い、主体的に学ぶ学習プログラム「あおもり親楽プログラム」の進行役となる。
⑤活動開始年度	令和2年度
⑥問合せ先	(部署・氏名等) 五戸町家庭教育応援隊・小宮 香 (TEL)080-5541-4600 (E-mail) 5nohe.kateikyoiku@gmail.com

(2)活動内容について

①活動形態 (複数チェック可能)	<input checked="" type="checkbox"/> 保護者等への学びの場の提供 <input checked="" type="checkbox"/> 保護者等への地域の居場所づくり <input checked="" type="checkbox"/> アウトリーチ型家庭教育支援(※保護者の居場所に出向いて届ける支援) ↳ <input checked="" type="checkbox"/> 自宅に届ける支援(情報提供、相談対応等) <input checked="" type="checkbox"/> 保育所・幼稚園・学校等に届ける支援(情報提供、相談対応等) <input checked="" type="checkbox"/> その他の保護者に届ける支援(情報提供、相談対応等) <input checked="" type="checkbox"/> その他(不登校児・生徒・保護者の支援)
---------------------	--

<p>②活動対象 (複数チェック可能)</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>乳幼児 <input checked="" type="checkbox"/>小学生(低学年) <input checked="" type="checkbox"/>小学生(中学年) <input checked="" type="checkbox"/>小学生(高学年) <input checked="" type="checkbox"/>中学生 <input checked="" type="checkbox"/>高校生以上</p> <p>の子供を持つ保護者に対する活動を実施</p>
<p>③活動内容</p>	<p>【具体的な活動内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「あおもり親楽プログラム」を活用した研修会の開催 保護者および支援者が子育てに必要な知識やスキルについて学ぶことを目的として、公民館等を会場として青森県教育委員会発行の学習プログラム「あおもり親楽プログラム」を活用しながら、保護者や支援者等を対象とした、家庭教育に関する研修会を不定期に開催。 ・『あそび部』(親子向けワークショップ)の開催 「孤育て」の防止や地域で子育てをするきっかけをつくるとともに、保護者研修会で学んだことを自ら実践する機会を設けることを目的として、公民館等を会場として親子対象のイベントや学習会・体験会を開催。これから親になる世代(子育て未経験者)が、交流を通じて家庭教育のスキルを身につけるとともに子どもに興味を持てるよう、アウトドアやクラフト等趣味を活かしながら地域の子どもたちと交流できる場を提供。併せて、家庭および地域の防災力向上につながる体験を取り入れた活動を行っている。 ・地域食堂、おさがり会(子育て用品、学用品、介護用品等)の開催 地域の多世代がつながることを目的として、世代間交流ができる場を設け、参加者の協力のもとで地域食堂、おさがり会を開催している。 ・生活困窮世帯への支援物資の提供(フードドライブ等) <p>上記の他、孤立しひとりで悩みを抱え込むことのないよう、相談事業(声かけ・対面相談・メール相談)、不登校の悩みを抱える親子のサポートを行っている。</p>
<p>④活動の成果 (活動実績がある場合)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・活動を継続したことで、延べ150を超える世帯とつながることができた。新型コロナウイルス感染症が収束し、地域の方々の行動の変化に柔軟に対応すべく、個別ニーズに合わせたプログラムを企画している。特に、地域食堂やおさがり会への関心が高く、継続を期待する声も聞かれる。 ・相談事業では、不登校の子どもを抱える保護者の相談を受け入れたり、学校や教育委員会との連絡(確認等)を行うなど、家庭と学校の間に入って課題解決に取り組むことが出来た。 ・町の健康増進課、包括支援センターとの連携を図り、子どもからシニアまで幅広い世代が地域の家庭教育力を向上に関われる仕組みづくりを行っている。

<p>⑤活動財源 (複数チェック可能)</p>	<p><input type="checkbox"/> 文部科学省補助事業(事業名:)</p> <p><input type="checkbox"/> 文部科学省委託事業(事業名:)</p> <p><input type="checkbox"/> 厚生労働省事業(事業名:)</p> <p><input type="checkbox"/> 地方公共団体単独事業として実施</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 特段の予算措置はない(自主的に活動を実施)</p> <p><input type="checkbox"/> その他の支援により活動を実施 ()</p>
------------------------------------	--